PETER DAVID BETER・音声書簡 第50号

1979年9月30日

テーマ1 暴走インフレと崩壊するアメリカ経済

1 ベターは、価格上昇が日々の家計予算を圧迫すると説明した。



2 彼は記録的な金利と、住宅所有という衰退する夢を結びつけた。



3 彼は家計の苦難と、資産を借り買いする事業とを対比した。



4 持続的なインフレとともに成長の弱さも説明されました。



5 彼は金の需要の高まりとドル安を結びつけた。



6 彼は意図的な計画を非難し、ノックス砦の主張を繰り返す。



7 彼はアメリカをドイツの以前のインフレーションと比較した。



8 彼は、普通のアメリカ人にとって崩壊と困難を予言した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第50号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第50号

1979年9月30日

テーマ2 SALTIIを壊滅させるキューバ危機

1 ベターはキューバにおけるソビエト軍の戦闘部隊の発表に焦点を合わせた。



2 彼はその危機を軍縮条約を破ろうとする試みだと言った。



3 彼は衛星写真はむしろ新しく入手した古いものであると主張した。



4 秘密裏に宇宙戦を繰り広げた後、彼はアメリカのスパイ衛星を紛失したという話を繰り返した。



5 キューバを舞台として、より広い秘密展開を描いている。



6 ストーン、ブラウン、教会に関わる上院の交流について記述した。



7 教会の強硬路線は後に和解の信頼性を与える可能性があると述べた。



8 彼は深夜の会議と配備を抑止と解釈した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第50号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第50号

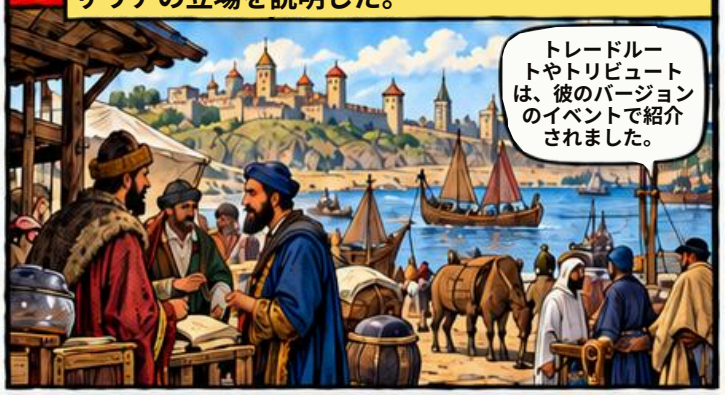
1979年9月30日

テーマ3 ロシアとカザフスタンの1000年の戦争は

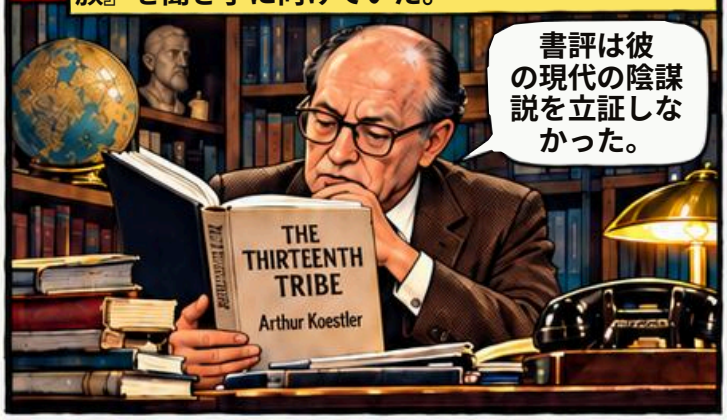
1 ベターは中世カザリアと近代的な権力闘争を結びつける理論を提示した。



2 彼は黒海とカスピ海付近におけるカザリアの立場を説明した。



3 彼はアーサー・ケストラーの著書『13番目の部族』を聞き手に向けていた。



4 彼はカザフスタンの支配者たちによるユダヤ教の受容について論じた。



5 彼は、ロシアが興隆し、ビザンチン・キリスト教との関係が深まった。



6 彼はその物語をボリシェヴィキとシオニズムに広げた。



7 彼はラビ・ジョエル・テイテルバウムのシオニズムへの反対を引用した。



8 彼はアメリカをこの古代の争いの戦場として描いた。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第50号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。